

## 空間的統合オンライン社会調査システム S I O S S S のためのテストベッド構築, 筑波でのケーススタディ

### Spatially Integrated Online Social Survey System (SIOSSS) for Public Facility Management and Government Decision Support

# Ko Ko Lwin[1]

# Lwin Ko Ko[1]

[1] 筑波大学

[1] Division of Spatial Information Science, University of Tsukuba

空間的統合オンライン社会調査システム S I O S S S のためのテストベッド構築、筑波でのケーススタディ  
Ko Ko Lwin, Yuji MURAYAMA

#### 要約

効果的な都市及び地方の経済開発計画を策定するために住民参加型の行政意思決定は主要因である。そのためには、世論と公共情報収集は、都市政府及び地方政府において重要な仕事である。けれども、社会調査を行うとき、回答率の減少に至る原因と思われるコミュニケーションの制限と調査対象者へのアクセス可能性が低いなどで、現状では調査への協力が得にくくなっており、さまざまな困難に直面している。現在行われている各種社会調査である郵送調査、又は電話による調査又はインターネットによる調査等は、いずれも単に、テキストや表などで表示する非空間的な情報を取得するだけで、今の社会調査システムでは、情報を更新することは不可能である。空間的な変動による社会的行動や特徴を理解するための人口統計に関するデータを検討するには、収集した属性情報を、地理情報システム準備データセット (GIS ready dataset) に変換することができる統計者や地理情報システムアリストなどの技術者が、更に要求される。社会科学における GIS データの活用増加と社会調査への調査対象者の回答率低下等を含め、各種社会調査で生じている困難を克服するため、効果的で対象者の調査への関心を高めるために、私達は空間的統合オンライン社会調査手法を構築する必要がある。現在、インターネット利用者数も増加しており、ネットワークの前進及び空間情報技術を用いた市販の高解像度衛星画像及びグーグル地図のようなユーザーフレンドリーなインターネット GIS の出現などで、空間情報利用者は一般のインターネット利用者からコンピュータの専門知識をもつ人材まで幅広い範囲で利用されている。私達は、あらゆる空間情報技術の発達を活用し、筑波市を事例研究の対象のエリアとして選び、政府機関及び意思決定者のために住民参加型 GIS で豊かな地域づくりの実現に効果的である空間的統合公共調査データの収集、更新、共有、視覚化することなどが、可能になる空間的統合オンライン社会調査システム ( S I O S S S ) に用いるテストベッドを提供しています。

キーワード: 空間的統合オンライン社会調査システム ( S I O S S S )、住民参加型 GIS ( P P G I S )、都市計画と政府の GIS